

校長室より

児島小学校2年目の春を迎えました。校長の寺山 泰史（てらやま やすし）でございます。保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校の教育活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。子どもたちの幸せのため、学校と共に歩んでくださいますよう、今年度もどうぞよろしく願いいたします。

さて、児島小学校の校門には2種類の桜が立っています。

※
1本は「淡墨桜（うすずみざくら）」で、日本三大桜の1つである、岐阜県の「根尾谷淡墨桜」から株分けをして頂き、平成11年11月11日に植樹されたものです。

現在では、本校のシンボルツリーとなっており、春には美しい花を咲かせてくれます。とても淡い色で、まさにうすい墨の色をしています。満開期には、人々の心が奪われるほどの圧倒的な存在感です。

※日本三大桜 福島県「三春滝桜」
山梨県「山高神代桜」
岐阜県「根尾谷淡墨桜」



本校校門に咲く「淡墨桜」

もう1本の桜は「染井吉野（ソメイヨシノ）」。以前、先輩から聞いた話ですが「なぜ人々はソメイヨシノに魅了されるのか？」について、「ソメイヨシノは珍しく下方を向いて花を咲かせる。人々が桜を見上げた時、正面から花が迎えてくれるから。」とのこと。

厳しい冬を超え、待ちに待った春の季節に人々の心も明るくなっていきます。まるでその心を表現したかのように温かみのある花が包み込むように見下ろしてくれます。

私たち児島小学校に勤めるすべての教職員は、淡墨桜のように強い存在感をもって学習や生活の指導に励み、先生を見上げる子どもたちを優しく包み込むようにソメイヨシノのごとく頭（こうべ）を下げて支援にあたることを念頭に置き、日々の学校生活を支えて参ります。

倉敷市立児島小学校 校長 寺山 泰史